

2019年5月13日~15日 政務調査

場所 新潟県 糸魚川市 糸魚川市役所 第一委員会室

時間 14時過ぎ~16時過ぎ

17時から現地の視察・調査を行う

参加議員 橋口正人・黒田澄子・重留健朗・桃北勇一

調査内容 糸魚川市駅北大火のその後復興、取り組み状況について

(木造密集地における防災の取り組みについて)

- ① 被災前の取り組み状況
- ② 教訓を生かした、それぞれの防災の取り組み
- ③ 復興計画の策定について
- ④ 自主防災組織のへの関わり方

H.28年12月22日 10:20分出火沈下するまで30時間そうとうかかった火災である。

湯之元地域の消防車両が入れない地域に、これからどのように取り組んで行くかが、日置市についての課題だと思う議員で参加しました。

これより、質疑の内容をお知らせいたします。

Q 駅北復興計画の策定について

A 3つの方針をきめ・災害に強い(大火を二度と繰り返さない)・賑わいのある町(人々が集い憩う中心市街地として)・住み続けられる町を基本(被災前の人口規模を回復)としてまた、6つの重点プロジェクトを作りとりくんでいる。

Q 準耐火構造の建物を採り入れ、現在 9 割進んでいると聞くがこれは「奇跡の一軒家」が残った事と関係しているのか。

A 本町通りにおける延焼遮断帯の形成をして、沿線の建物について準耐火建築物以上として条例化し、市でも防火構造とする必要がない部分の経費全体の上限 30 万の助成も行っている。奇跡の一軒家は残っているが関係はない。

Q 子供消防隊の設置をしているが、どのような取り組みをしているのか。

A 子供消防隊もこれからのこの大火を風化させない為にも子どもたちに引き継がれていると思う、初期消火体制について、60 ミリのホースを 40 ミリに変え子供やお年寄り女性を使いやすいホースに変え訓練をしている。

Q これからどのようなことに気を付けていかねばならないと思うか。

A いろんな事を、言っても火事を出さないという事が一番です。

その他、沢山の質疑もあった。





5月14日 火曜日 13:30分~15:00

調査個所 新潟県南魚沼市役所

参加議員 黒田澄子・橋口正人・重留健朗・桃北勇一・坂口洋之
並松安文・西園紀子・是枝みゆき

調査内容 1.南魚沼市の人口問題プロジェクトについて

- ① 人口問題プロジェクトの目的と経緯について
- ② 結婚に関するアンケートの目的と経緯について
- ③ 若者まちづくりカフェの取り組みと、意見・要望・効果について
- ④ 若者まちづくり会議キッズバージョンについて

これより、質疑内容をお知らせします。

Q 人口問題について、若い人たちの新たな視点で発想や市政に反映させるのは、ふれあい広場等、U&I ときめき課が行っているのか。

A 市でも毎年市長との、懇談会を16会場で行っているが、若い人の参加も少なく若い人の新たな視点や発想を聴く「若者まちづくり会議」(若まちカフェ)を始めて一般市民や市のプロジェクト委員も参加している。

Q キッズバージョンを開催して写真を使ったビジョンゲームして町の将来を考えているが効果はどうか。

A 意見の共有や共通理解を深めるために、少人数グループのワークショップ形式採用し複数のグループがテーマに沿って自由に話し合い、活発に意見を出せる環境づくりを行う事で、未来を担う若い世代が市の将来を考える機会になっていると思う。

Q 全天候型遊びの広場は現在もおこなっているのか、職員も携わっているのか。

A 以前は、ふれ愛支援センター内で実施している子育て支援センター事業をイオン六日町店内のテナントに移行して、休日や小学校入学前を対象としていたが小学三年生まで拡充した。その他にも質疑があった。

2. 南魚沼女性ボランティア活動について

① 南魚沼女子力観光プロモーションの内容と目的について

② どのような経緯で実施したのか

③ 活動と、行政の支援体制について

これより質疑の内容をお知らせします。

Q 南魚沼女子力観光プロモーションチームは凄くインパクトがある名前ですがFM ゆきぐにに、レギュラーとして週一回の放送をされていますが、こうゆう大変なことがあったとか、楽しかったとかエピソードがあったら詳しく教えてください。

A そうですね。内容は10分間で一人もしくは二人で代わる代わる参加していますが、ウェブサイトからこんな美味しい物を食べてきたよ、こんな場所も凄く素晴らしいとか季節の情報を頂いたり、投稿があったらすぐ行って現場からの写真を載せるとか発信している。

Q ホームページは自分で作ったのか、又投稿している人は全員なのか伺う。

A ホームページは、ちゃんとした会社をお願いして作っていただきました。ウェブページに乗せるのは、誰でもという事でなく 3 人の方が、原稿をもらってブログに載せている次第です。間違いがないようにするためでもあります。

Q 南魚沼女子力観光プロモーションチームを立ち上げるきっかけは、何だったんでしょうか。

A 私もバスガイドを 30 年余りしていたわけですが、何でこんなところに人が来るんだとか、何が楽しいんだろう、地域の人意識が低かったわけです。

でも、来た人は、空気おいしい・食べ物おいしい・人が優しい・星がきれいとか、住んでみたいとか実際私も住んでいて住みやすいし、市長に手紙を書いたんです。こんなチームを作ってボランティア活動をしたいねって市長に書いたら「市長からいいねっ」て返事をいただいたのがきっかけで、市の委嘱チームでさせて頂いています。

Q この会に入りたいという方は多いと思いますが、基準はどうしていますか。

A 月にいくら頂けるんですかとか、これはボランティアでやっているお金は頂けません。強いて言えばタバコを吸う方はご遠慮下さいかな。でも、入りたいからタバコをやめて入ってきた方もいます。との楽しいチームでした。

このほかにも質疑はありました。

